

## 単元の見通し

いろいろな本(特に絵本)を読んでみたい・紹介してみたいという気持ちの素地づくり

- ・ 読書タイム用に、絵本を中心に学級文庫に加えておく
- ・ 一人一冊、自分の好みの本を学校に持ってくるようにする
- ・ 読書タイムに、先生おすすめの絵本の読み聞かせをする(絵本中心、「エルマーの冒険」を入れる)
- ・ 宿題・自主学習から、児童の「おすすめの本紹介」をストックしておく
- ・ 「読書」とは、ストーリーを文字で追っていくことだということを押さえておく(図鑑やミッケは△)。
- ・ 絵本によさ(簡単、面白い、道徳的価値)などを伝えておく

## 単元導入

○クラスの読書の状況をたずねる。

「一番読むのは『ミッケ』」「いつも『〇〇を探せ』だな」「でも、クラスの本棚で読みたいのはそれだけだな」「でもそれって『読書』かどうか微妙だよな」「これからの読書タイムどうするかな？」



「思い出の本を…」「家にある本を…」「クラスのある本を…」「コスモスの本を…」  
「クラスに持ってきてほしい」「紹介してほしい」「あらすじを伝えたい」「紹介カードを書きたい」



おすすめの本を紹介したい①

「家の本を持ってきてほしい」「休み時間コスモスに行きたい」  
「コスモスの一人一冊を利用したい」



コスモスに行って自分の好きな一冊、おすすめの一冊を選ぼう  
家から、思い出の本、おすすめの本を家から持ってきてよう ③

「この本が面白そう」「なかなか決まらない」  
「(知っている)あの本にしよう」「おすすめなんか無いし」  
「家にあるあの本を持てよう」「この本面白いよ」

「好きな本、おすすめの本」を一冊決める  
クラス本棚第一弾のできあがり

○学習の目標に立ち返る

お気に入りの本、思い出の本を友だちに紹介しよう④

○どんな方法で紹介したいか。

「紹介ブック」「読み聞かせ」「本を持ってスピーチ」「クイズ形式」  
「紙しばい」「あらすじ紹介」→紹介の大まかな様子をおさえておく。



「どの方法で紹介しようかな」「決めた本にあっているのはどれかな」



「本紹介の準備をしよう」

(「どう準備すればいいかわからない」と思う児童もいるであろう)



○準備する上での「困り感」を整理

『読んでみたくなる』にはどうしたらいいんだ？  
「あらすじはどこまで書けばいいんだ？」  
「誰かの例を見たい、聞きたいな」

「読んでみたくなる紹介」にするポイントを考えよう

○聞いた人が「読んでみたい」と感じるためのポイントを考える

〈内容面共通〉・あらすじ、引用(最後までは伝えない)

- ・ 自分の思い(面白い、読んでほしいと思うところなど)
- ・ 誰に、どんな人に読んでほしいか
- ・ どこで手に入れられるか
- ・ 話す筋道を工夫する など

6月8日学習感想より気持ち

紹介したい・伝えたい	10人
借りられた・見つけた	10人
探したい・借りたい	9人
迷っている	1人
こんな本が好き	2人

6月9日学習感想より気持ち

紹介したい・伝えたい	17人
お気に入りの本が見つかった	5人
いっぱい読みたい・読み中・ クラスの本一杯にしたいなど	8人

6月10日学習感想より気持ち

紹介したい・伝えたい	22人
お気に入りの本が見つかった	3人
読むのが好きになった・ もっと読みたい など	7人

6月13日学習感想より紹介の方法

ブック…	15人	カード…	3人
チラシ…	2人	新聞…	5人
スピーチ…	1人	アピール…	1人
読み聞かせ…	5人		

6月14日学習感想より気持ち

紹介が楽しみ など	17人
内容をどうしたらいいか	
工夫したい、思いつかないなど	13人
欠席	1人

○紹介文例を聞く(教「エルマーの冒険」)

(「冒険好きな人におすすめ」など、どんな人におすすめかを加える)

○紹介文例のよいところを出し合う

「本の中の言葉を使ったこと」

「挿絵を見せたこと」

『読んでからのお楽しみ』のところ

「自分の体験とつなげたこと」

「どんな人におすすめかを伝えたところ」

「原稿を作っていること」

「原稿をチラ見程度しか見ないこと」

「声の大きさを変えたこと」

紹介カード、ブックなど

- ・表紙や挿絵のイラスト
- ・シリーズ紹介
- ・あとがき

読み聞かせ、スピーチなど

- ・始めと終わりに言葉
- ・なるべく暗記
- ・小道具を作る

しょうかいするとき

- ・目配り(聞き手を見る)
- ・声(大きさ、感情をこめるなど)
- ・指さし
- ・くり返し など

「紹介の準備を進めよう」 「一回りハーサルをしたい」



「友だちと協力して、「読んでみたくなる」紹介にしよう」



- ・グループでリハーサルの的に行う。一人15分くらいはとりたい。じっくり「こうした方が読みたくなるんじゃない?」「～を付け加えたら?」「それいいね、真似したい」と、わいわい意見を出し合い高めあう。

○本紹介をする

本は苦手だったけど嫌いではなくなった

本がすきになった

もっと紹介したい

もっと友だちがすすめてくれた本を読みたい

読み終わったら学級文庫第二弾にしたい